



2021年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月14日

上場会社名 株式会社ロコンド
 コード番号 3558 URL <https://www.locondo.co.jp/ir>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 田中 裕輔
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部ディレクター (氏名) 田村 淳

TEL 03-5465-8022

四半期報告書提出予定日 2020年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第1四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	1,955	10.7	145		143		88	
2020年2月期第1四半期	2,190		170		182		185	

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 88百万円 (%) 2020年2月期第1四半期 185百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年2月期第1四半期	7.81	7.70
2020年2月期第1四半期	16.75	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2021年2月期第1四半期	6,637		3,178		47.8
2020年2月期	4,934		3,086		62.5

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 3,174百万円 2020年2月期 3,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年2月期		0.00		0.00	0.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,000		1,500		1,500		1,200	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) Misuzu & Co.株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期1Q	11,453,960 株	2020年2月期	11,063,560 株
期末自己株式数	2021年2月期1Q	120,400 株	2020年2月期	380 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期1Q	11,329,703 株	2020年2月期1Q	11,059,716 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲)	8
(セグメント情報等)	8
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)	前年同期比
商品取扱高(返品前)	5,820,200	4,828,270	83.0%
商品取扱高(返品後)	4,801,781 (100.0%)	4,012,086 (100.0%)	83.6%
売上高(注)3	2,190,020 (45.6%)	1,955,867 (48.7%)	89.3%
売上総利益	1,739,662 (36.2%)	1,531,639 (38.2%)	88.0%
EBITDA(注)1、2	△150,139	169,845 (4.2%)	
営業利益又は営業損失(△)	△170,090	145,370 (3.6%)	—
経常利益又は経常損失(△)	△182,328	143,240 (3.6%)	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△185,266	88,476 (2.2%)	—
ECモール事業(返品前)			
出荷件数(件)	488,780	423,147	—
平均出荷単価(円)	9,183	9,034	—
平均商品単価(円)	5,533	5,061	—

(注) 1. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

2. 当社グループでは、2020年2月期よりのれんの償却が発生しておりますが、今後とも事業の成長加速のためM&Aを積極的に検討していく方針であり、のれんの償却が増加する可能性があります。この点を考慮し、EBITDAを参考指標として開示しております。

3. ECモール事業の受託型については販売された商品の手数料を、プラットフォーム事業についてはサービスの手数料を売上高として計上しております。

4. ()内は商品取扱高(返品後)に対する割合を記載しております。

当社グループは「業界に革新を、お客さまに自由を」という経営理念の下、事業に取り組んでいます。

「自宅で試着、気軽に返品」の靴とファッションの通販サイト、「LOCONDO.jp」を軸とするECモール事業においては、TVCMの開始による認知度向上、継続的な「LOCONDO.jp」の改善によるユーザー満足の向上を図って参りました。また、自社公式EC支援(BOEM)、倉庫受託(e-3PL)、店舗の欠品及び品揃え補強(LOCOCOC)等のサービスを提供するプラットフォーム事業につきましても、サービスの強化及び導入社数の増強を図っております。

しなしながら当第1四半期連結累計期間においては外出自粛によって靴の需要が減少したため、商品取扱高(返品後)は4,012,086千円(前年同期比16.4%減)となり、売上高につきましても1,955,867千円(前年同期比10.7%減)となりました。

それでも前連結会計年度まで認知度向上を目的として積極的に投下していたテレビCMの抑制に加え、前連結会計年度中に取り組んでいたウェブ広告の効率化、入荷自動レーン導入等による物流倉庫運用の効率化、送料手数料収入等の見直し等により、販売費及び一般管理費は1,386,269千円となり、EBITDAは169,845千円(前年同期は△150,139千円)、営業利益は145,370千円(前年同期は170,090千円の営業損失)、経常利益は143,240千円(前年同期は182,328千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は88,476千円(前年同期は185,266千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

各事業別の業績は以下のとおりであります。

事業別	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)					
	商品取扱高 (返品前) (千円)	構成比 (%)	商品取扱高 (返品後) (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
ECモール事業	4,488,955	77.1	3,498,962	72.9	1,610,219	73.5
うち、LOCONDO.jp	3,857,025	66.2	2,913,227	60.7	—	—
うち、LOCOMALL	631,929	10.9	585,734	12.2	—	—
プラットフォーム事業	968,427	16.7	940,000	19.6	250,776	11.5
その他事業(店舗・卸等)	362,818	6.2	362,818	7.5	329,023	15.0
合計	5,820,200	100.0	4,801,781	100.0	2,190,020	100.0

事業別	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)					
	商品取扱高 (返品前) (千円)	構成比 (%)	商品取扱高 (返品後) (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
ECモール事業	3,822,735	79.2	3,057,832	76.2	1,497,270	76.6
うち、LOCONDO.jp	3,376,212	70.0	2,636,549	65.7	—	—
うち、LOCOMALL	446,522	9.2	421,283	10.5	—	—
プラットフォーム事業	806,288	16.7	755,006	18.8	262,452	13.4
その他事業(店舗・卸等)	199,247	4.1	199,247	5.0	196,144	10.0
合計	4,828,270	100.0	4,012,086	100.0	1,955,867	100.0

事業別	前年同期比					
	商品取扱高 (返品前) (千円)	構成比 (%)	商品取扱高 (返品後) (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)
ECモール事業	△666,219	85.2	△441,129	87.4	△112,949	93.0
うち、LOCONDO.jp	△480,812	87.5	△276,678	90.5	—	—
うち、LOCOMALL	△185,406	70.7	△164,451	71.9	—	—
プラットフォーム事業	△162,138	83.3	△184,994	80.3	11,675	104.7
その他事業(店舗・卸等)	△163,570	54.9	△163,570	55.0	△132,879	59.6
合計	△991,929	83.0	△789,695	83.6	△234,153	89.3

- (注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 当社グループの事業セグメントは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、セグメント別の販売実績の記載はしておりません。
3. 「LOCOMALL」とは、「楽天市場」及び「Yahoo!ショッピング」など他社モールにて展開する「LOCOMALL」の取扱高等になります。

4. ECモール事業の受託型に係る売上高については、販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。
5. ECモール事業の商品取扱高（返品後）に占める受託型の取扱高は、下記のとおりです。なお、「LOCONDO.jp」と「LOCOMALL」別に受託型を把握する事が困難であるため、それぞれの売上高は記載しておりません。

	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
受託型商品取扱高比率	88.7%	85.3%

① ECモール事業

ECモール事業につきましては、複数ブランドをロコンドグループの屋号でもって、通販サイト経由で販売する事業で、販売在庫の中には受託型と買取型の2種類があります。商品取扱高（返品前）、商品取扱高（返品後）は商品の販売価格を基に記載しておりますが、売上高は買取型については商品の販売価格を計上し、受託型については販売された商品の手数料を受託販売手数料として計上しております。「LOCONDO.jp」の運営、「楽天市場」、「Yahoo!ショッピング」など他社モールへの出店を行っており、当第1四半期連結累計期間においては出荷件数は42万件、出店ブランド数は2,546と順調に増加しました。その結果、ECモール事業の商品取扱高（返品後）は3,057,832千円（前年同期比12.6%減）、売上高は1,497,270千円（前年同期比7.0%減）となりました。

② プラットフォーム事業

プラットフォーム事業につきましては、ブランドの自社公式EC支援（BOEM）、倉庫受託（e-3PL）、店舗の欠品及び品揃え補強（LOCOCHOC）の運営等を行っております。「BOEM」における支援ブランド数は新たにKATHARINE HAMNETT LONDONなどの開始により当第1四半期連結会計期間末時点で29ブランドとなりました。これにより、当第1四半期連結累計期間の商品取扱高（返品後）は755,006千円（前年同期比19.7%減）、売上高は262,452千円（前年同期比4.7%増）となりました。

なお、倉庫受託（e-3PL）に関しては、ユーザーへの販売を伴わない商品補充等の出荷も含まれるため、その出荷額は商品取扱高（返品前）、商品取扱高（返品後）には含めておりません。

③ その他事業（店舗・卸等）

店舗・卸事業につきましては、主にロコンドの買取在庫を活用し、リアル店舗や小売店への販売を行っております。当該事業の当第1四半期連結累計期間の商品取扱高（返品後）は199,247千円（前年同期比45.0%減）、売上高は196,144千円（前年同期比40.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,493,763千円増加し、5,305,924千円となりました。これは主に、短期借入金の借入等により現金及び預金が621,446千円、買取商品の拡充により商品が262,559千円増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて209,552千円増加し、1,331,410千円となりました。これは主に、新倉庫への移転等により有形固定資産が121,401千円増加したことによるものであります。

③ 負債合計

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,611,883千円増加し、3,459,125千円となりました。これは主に、短期借入金の借入により500,000千円、ECサービスの取引拡大により受託販売預り金が282,946千円、新倉庫への移転等により未払金が324,768千円増加したことによるものであります。

④ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて91,431千円増加し、3,178,209千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益88,476千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,770,427	2,391,873
受取手形及び売掛金	689,178	969,821
商品	1,151,118	1,413,677
貯蔵品	10,715	7,413
その他	190,722	523,138
流動資産合計	3,812,161	5,305,924
固定資産		
有形固定資産	142,573	263,974
無形固定資産	117,488	124,866
投資その他の資産		
繰延税金資産	141,154	108,435
その他	720,642	834,132
投資その他の資産合計	861,797	942,568
固定資産合計	1,121,858	1,331,410
資産合計	4,934,020	6,637,334
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	142,569	153,398
受託販売預り金	559,530	842,476
短期借入金	500,000	1,000,000
未払金	378,177	702,945
未払法人税等	33,084	33,144
ポイント引当金	23,862	19,511
その他	194,249	691,881
流動負債合計	1,831,474	3,443,357
固定負債		
その他	15,767	15,767
固定負債合計	15,767	15,767
負債合計	1,847,242	3,459,125
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326,740	1,328,265
資本剰余金	2,105,023	2,106,548
利益剰余金	△246,887	△158,411
自己株式	△101,518	△101,555
株主資本合計	3,083,357	3,174,847
新株予約権	3,420	3,361
純資産合計	3,086,778	3,178,209
負債純資産合計	4,934,020	6,637,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	2,190,020	1,955,867
売上原価	450,358	424,227
売上総利益	1,739,662	1,531,639
販売費及び一般管理費	1,909,752	1,386,269
営業利益又は営業損失(△)	△170,090	145,370
営業外収益		
受取利息	0	0
受取保険料	-	1,208
物品売却益	756	845
還付加算金	328	-
その他	372	232
営業外収益合計	1,457	2,285
営業外費用		
支払利息	1,554	954
為替差損	12,140	3,461
営業外費用合計	13,695	4,415
経常利益又は経常損失(△)	△182,328	143,240
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△182,328	143,240
法人税、住民税及び事業税	6,375	22,044
法人税等調整額	△3,437	32,718
法人税等合計	2,937	54,763
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△185,266	88,476
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△185,266	88,476

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△185,266	88,476
四半期包括利益	△185,266	88,476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△185,266	88,476
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲)

当第1四半期連結会計期間におきまして、当社の連結子会社でありましたMisuzu & Co. 株式会社は、当社を吸収合併存続会社、Misuzu & Co. 株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことにより、連結の範囲から外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、靴を中心としたファッション関連商品等の販売、企画、仕入事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等（子会社の吸収合併契約）

当社は、2020年1月17日開催の取締役会において、当社が2018年10月1日に完全子会社化したMisuzu & Co. 株式会社を吸収合併することを決議し、2020年1月17日付で合弁契約を締結し、2020年3月1日で吸収合併いたしました。

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及びその事業の内容

存続企業

名 称 : 株式会社ロコンド（当社）

事業の内容 : 通信販売業

消滅企業

名 称 : Misuzu & Co. 株式会社

事業の内容 : 婦人靴の企画開発、販売

(2) 企業結合日

2020年3月1日

(3) 企業結合の法的方法

当社を存続会社、Misuzu & Co. 株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併方式

(4) 結合後企業の名称

株式会社ロコンド

(5) 取引の目的を含む取引の概要

当社は、2018年10月1日にMisuzu & Co. 株式会社を完全子会社化し、オムニ戦略の実現や業務のデジタル効率化、及び収益力の向上を図ってまいりましたが、今回の吸収合併によりさらにこれらの改善を加速させるとともに、ロコンドグループとしてブランド力の向上を図ってまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(重要な後発事象)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業内容

被取得企業の名称：株式会社Fashionwalker

事業の内容：EC事業（モール事業及びEC受託事業）

② 企業結合を行った理由

株式会社Fashionwalker（以下、「ファッションウォーカー」といいます。）は、「FASHIONWALKER」を中心としたECサイトを運営するECモール事業、自社ECサイトの構築・運営を受託するEC受託事業を展開しております。

当社は、「業界に革新を、お客さまに自由を」という経営理念の下、「自宅で試着、気軽に返品」できる、靴とファッションのECサイト「LOCONDO.jp」を軸とする「ECモール事業」、「ECモール事業」で構築したIT・物流インフラ等を共有・活用した「プラットフォーム事業」、主にロコンドの買取在庫を活用し、リアル店舗や小売店への販売を行う「その他事業（店舗・卸等）」を展開しております。

当社のECモール事業においてはアパレル領域の強化を目指しており、ファッションウォーカーの運営する事業のうち、ECモール事業を当社グループへ迎え入れることで「LOCONDO.JP」との相乗効果が大きく見込め、当社サービスのより一層の強化及び顧客層の拡大に期待できると考えております。

③ 企業結合日

2020年7月20日

④ 企業結合の法的形式

株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	300,000千円
取得の原価		300,000千円

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(4) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。